

「くらしを励ます」 「商売を応援する」 公約実現に全力



板橋区議会議員として活動し8年目を迎えました。「くらしを励ます」「商売を応援する」という公約を実現するために全力をあげてきました。この3年間だけでも家賃助成、月次支援金・感染拡大防止協力金の上乗せ、事業継続支援金、経営安定化融資制度などを実現してきました。

今もまた、区内事業者はコロナの拡大、物価の高騰、融資の返済などで危機に立たされています。2023年10月からは「インボイス制度」が実施され、ますます窮地に立たされることになります。

私の公約である「くらしと商売を応援する区政へ」の実現はますます重要になってきます。

生活相談、
様々な申請相談、
全力で取り組んでいます。

赤塚のまちには、農地が一軒家の宅地にんに支えられました。
私の祖父と父は赤塚六道の辻で酒販店を営み、家族を支えてきました。私は赤塚小学校・赤塚三中に通い、多くの友人が、今でも交流は続いていいます。8年前に板橋区議会議員選挙に立候補した時も幼なじみや地元のみならず、生活の大きな支えが「くらしと商売を応援する区政」の理念を直撃し、多くの人が移住してきました。お話を聞くと、お困りのことは何でも相談ください。いまの生活の大変さは、その原因も行政の支援の少なさも政治の問題です。私は地元のみならず、政治を変えるために頑張ります。

**あいきっ
御用聞き**
70年続＜酒屋の三代目＞
区民の困りごとにも

多くの高齢者に使ってもらうためには、
非課税世帯という縛りを取り払い、
2万円という助成額を引き上げていくことが必要です。



板橋区では2021年4月から高齢者の補聴器の購入に対する助成額がスタートしています。世帯の65歳以上の方が対象です。板橋区の助成は739-47の要件を満たすことが特徴です。区内の団体からの陳情をきっかけに議論が始まりました。私は、高齢者の補聴器助成実現のため陳情の採択を求め続けました。

補聴器の
購入助成が実現

吉田豊明

日本共産党 板橋区議会議員

区政報告

2022・2023冬号

2023年4月から
23区で

18歳まで 医療費無料化 が実現

所得制限なし

日本共産党区議団は
「所得制限なし」を
一貫して提案

- 主な活動地域／赤塚、赤塚新町、成増、三園、大門
- 吉田事務所／成増1-5-24 TEL 3975-5506 (FAX 3975-5508)
- 日本共産党 板橋区議団控室／TEL 3579-2717

ご意見・ご要望をお寄せください

地球温暖化対策条例を提案…
区はカーボンゼロ宣言へ



目標や宣言だけでなく効果のある具体的な取組みが必要です。私は今すぐにも実現可能な「省エネ家電への買換え助成」や太陽光パネルと蓄電器の購入助成などを求めています。

長期目標
2050年度までに
美質ゼロへ
温室効果ガス排出量の大部分を
占める二酸化炭素排出量を
削減

計画目標
2025年度までに
30%削減
温室効果ガス排出量を
削減

板橋区の計画を引き上げさせました！
板橋区地球温暖化対策実行計画での温室効果ガス削減目標は、区が掲げた2025年度までの削減目標の骨子で示されていた2025年度までの削減目標は19%でした。私は、区の目標が余りにも低いことを指摘し、これを受けて区は最終的な計画の2025年度目標を30%に引き上げました。国は2030年までに46%、世界は50%を超えています。積極的な目標引き上げが必要です。

気候危機は年々深刻になっていきます。私が議会で地球温暖化対策に取り組み始めたのは、IPCCが「1.5℃報告書」を出した2018年。その頃の板橋区は地球温暖化対策では、5年間の温室効果ガス削減目標はわずか1.8%でした。一般質問では毎回地球温暖化問題を取り上げ、より高い削減目標と省エネの効果的な対策を求め続けました。

気候危機打開へ
全力あげる区政に。